



摂土道第104号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長
宮田年耕様

大阪府摂津市
市長 森山 一正



中期的な計画作成にあたっての意見の提出について（回答）

平素は、本市行政に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市は大阪の都市圏にあり東西6km、南北5km、高度成長期には、交通の利便性の高い生産機能、広域物流機能の拠点として成長を続けてきましたが、今日では、基盤整備の遅れから生じる交通渋滞や事故等が、生活環境の悪化を招いております。

そこで、平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答させていただきますので、よろしく願いいたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての事項

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ① 地域格差の是正などが言われているが、国際競争力を高めるためには、大阪をはじめとする都市部の活性化が極めて重要であり、高速道路を含む骨格道路の整備推進と都市部における渋滞解消の取組み。
- ② 各自治体管理の道路の維持管理費用は各々で負担する（市道は市、府道は府、国道は国）取組み姿勢を徹底されたい。現状としては、国が維持管理を実施している直轄国道について、直轄負担金を都道府県が負担している、そのような費用を、府道の維持管理費用の徹底に回すか、各市町村補助として使用するべきである。
- ③ 本市内を縦横に走っている、地方道路〔(都)千里丘正雀一津屋線・(都)千里丘寝屋川線・(都)大阪鳥飼上上田部線・(都)千里丘三島線〕の車道整備はもとより、自転車もスムーズに通行できる歩道の整備を重点的に進められたい。
- ④ 市道については、国庫補助の採択基準では、都市計画道路の認可基準を緩和されたい。また、道路事業での土地収用がスムーズにできるように、認定採択基準の見直しや補助採択基準を小規模なものまで行えるような基準に緩和見直されたい。市町村道路の舗装打ち替えなどの維持管理費用にも道路特定財源が充当できるような方策も考えられたい。
- ⑤ 阪急京都線の連続立体交差事業に特段の配慮をされたい。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 道路ストックの健全度の把握、予防保全の実施や橋梁の長寿命化、適切な管理手法の検討。
- ② 自治体管理橋梁の長寿命化修繕計画策定の支援。
- ③ いまの道路を徹底的に活用するため、維持管理と新設の中間、「改良再生」（ICの追加、交差点の立体化、右折レーンの設置など）の実施。
- ④ ITS技術をさらに進歩させ、物流の効率化や歩行者支援など新たな分野の交通サービスの向上を図る。
- ⑤ 理解・共感が得られるような説明とスケジュール管理。
- ⑥ 用地取得を速やかに行うための制度活用。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ① 少子高齢化の社会でも、活力ある生活ができるように、急増する団塊リタイア世代の豊かな生活の実現へ、安全でスムーズな移動の自由を確保するため、安全な歩道や歩行空間の整備。
- ② 幹線道路の渋滞から、抜け道マップやナビの普及により、生活道路が通過道路になり、交通安全上問題が上がっており、幹線道路と生活道路の使い分けにより、それぞれの道路の性格を考えながら、道路のネットワーク整備。
- ③ 沿道環境・地球環境の保全では、本市においても近畿自動車道・大阪中央環状線などの主要幹線が南北に通過しており、渋滞も慢性化している現状から、近年大きく取り上げておられる、排ガスによる環境汚染対策や騒音振動対策を進められたい。